

2002.4.22

弁護士と外国法事務弁護士等との提携・協働および競争（渉外法律事務所）

1 . 日本の渉外法律事務所の進化と分化

分化：“大型”コーポレート・ロー・ファームとブティック渉外法律事務所に分化

進化：大型コーポレート・ロー・ファームの出現 ビッグ・フォー

伝統的渉外プラクティスの比重の低下

背景： コーポレート・ロー・プラクティスの世界的傾向

米国型（クラブ型）プラクティスの隆盛

ヨーロッパ型プラクティスの衰退

弁護士と外国法事務弁護士・外国法律事務所との提携・協働・競争が行われる主要

分野は、大規模案件についてのコーポレート・ロー・プラクティス

2 . 日本の大型コーポレート・ロー・ファームの実情

繁忙を極める分野

(a) M&A

(b) 証券化

(c) 企業のリストラクチャリング

株式の交換・移転・持株会社・会社分割・種類株式等新しい手

法の駆使

(d) プロジェクト・ファイナンス

(e) プライベート・ファイナンス・イニシアティブ

(f) 金融関係のレギュラトリー・ワーク

特徴：

新型大規模取引が多い

古典的渉外事案の比重の低下

外国企業と日本企業間の

ディストリビューターシップ

ライセンス

外国企業の日本での支店設置、子会社の設立

日本企業の外国進出の手助け

日本企業と外国企業間の紛争処理

ジョイント・ベンチャー

多くが国内案件 外国企業を含まない案件も多い

「渉外事務所」は実態に合わない

アウトバウンド案件の減少

### 3. 日本の大型コーポレート・ロー・ファームと外国法事務弁護士・外国法律事務所の

提携・協働および競争

#### (1) 提携・協働

特定共同事業

特徴： 大型コーポレート・ローファームには未だ特定共同事業

なし

アライアンス/合併

ヨーロッパで起こったこと 巨大英米ロー・ファームによる組織  
化

それ以外の提携・協働ないし協力

アド・ホックの協力 頻繁

ロー・ファーム・クラブ 多数

(2) 競争

現状

それぞれの強味と弱味

クライアントによる選択

将来